

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、
「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

国語（書くこと ウ）

単元名

生徒会に提言しよう—生徒会新聞に載せる写真を選ぶ—

① 本質的な問い（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

自分の考えが、相手（読み手）に伝わるような文章を書くことは、
どのような時に役立つだろうか？

② 単元を貫く問い（単元を通して考え深めていく「問い」）

相手（読み手）が納得するような文章を書くためには、どのように書
く必要があるか？

③ 個別の問い（単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・生徒会新聞に掲載する写真として、どちらがよいか。なぜ、そう考えるか。
- ・相手（読み手）が納得するような文章を書くために必要な要素はなんだろうか。
- ・自分の意見文で、改善すべき点は、どこだろうか。
- ・自分の考え、根拠、理由付けは、どのようにつながっていればよいだろうか。

- 1 「地域に配布する生徒会新聞に掲載する写真はどちらがよいか。」というテーマで意見文を作成する。
 - I 単元のゴールを理解し、まず意見文①を作成する。
 - II 悪文とモデル文を比較し、相手（読み手）が納得するような文章に必要な要素を発見する。
 - III IIで発見した要素をもとに、意見文①を分析し、改善すべき点を理解する。
 - IV それぞれの写真の長所や短所を考える。（読み手となる地域の方の反応も踏まえて考える。）
 - V どの根拠をもとに意見文を作成すれば、相手（読み手）が納得するような意見文になるか考える。
 - VI 考え、根拠、理由付けのつながりを吟味する。
 - VII 意見文を作成し、相互評価する。
 - VIII 単元全体を振り返り、相手（読み手）が納得するような文章を書くためには、どのようなことを書く必要があるか振り返る。
- 2 本単元の学習内容を活用して、異なる文脈で意見文を作成する。

単元計画の
構想を立てる

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第1学年

国語（C読むことI）

単元名 「少年の日の思い出」-作者の意図を考えよう-

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

文学的な文章から私たちは何を得ているのか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

文章の構成によって、どのような効果が生まれていると考えられるか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・この作品のように語り手が単独ではない物語にはどんなものがあるだろう？→紹介・並行読書
- ・「ぼく」はどのような人物として描かれている？「エーミール」をなぜ登場させたのだろう？
- ・「今でも美しいチョウを見ると、～」の段落を叙述しているのは、なぜなのだろう？
- ・クジャクヤママユのエピソードが詳細に描写されているのは、なぜなのだろう？
- ・ヘッセが冒頭の場面を設定したのは、なぜだと考えられる？その効果は？
- ・各自が読んだ語り手が単独でない物語は、なぜ語り手を複数にしたと考えられる？（その効果は？）

単元計画の
構想を立てる

- 1 本文を通読し、語り手が単独でない場面を含む物語を挙げる（並行読書）
- 2 課題の解決方法について話し合い、共通理解を図る
- 3 登場人物、場面、表現の意図を考え、意見を交換して考えを振り返る
- 4 冒頭場面の効果について、自分の考えを根拠を明らかにして論理的に書く
- 5 各自が読んだ物語における複数の語り手の効果について、自分の考えを根拠を明らかにして論理的に書く

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

教科等 国語（知識及び技能（1）工）

単元名 敬語の意義を考えよう

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

社会生活において、言葉を適切に使うとはどういうことか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

相手や場に応じた言葉遣いとはどういうものか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・なぜ敬語を使うのか？なぜ敬語を使った方がいいと言われているのか？
- ・敬語の役割とは何か？
- ・相手や時・場に応じて言葉を使い分けるのはなぜか？（礼儀とは何か？）
- ・相手との人間関係を形成するのに、敬語はどのように関わっているのか？
- ・敬語を適切に使えるようになることに、どのような意義（よいこと）があるか？

【単元を通じた言語活動】なぜ敬語を使う（使った方がいい）のか、自分の言葉で説明しよう。

- 1 敬語を使う理由を、これまでの経験に触れながら発表し合う。
（敬語を使ってよかった・失敗した、敬語を使わなくて失敗した・よかった経験など）
⇒「なぜ敬語を使うのか？」という疑問・課題意識を生徒にもたせるようにする。
- 2 敬語の役割とは何か、相手や時・場によってどう使い分けるのかなど、敬語について考えたいことを挙げる。
- 3 グループで考えたいテーマを決め、自分たちなりの答えを考える。
- 4 グループで考えたテーマについて、お互いに発表する。
- 5 敬語を使う意義や、これから敬語をどう使うかについて自分の考えを書き、交流する。

単元計画の
構想を立てる

「本質的な問い」（カリキュラムを構成する質問の三つの階層）の考え方を参考に、「単元を貫く問い」を立てて、単元計画を構想する準備をしてみましょう。

中学校・第3学年

国語科（C読むことウ）

単元名 表現の仕方を評価し、その価値を伝え合おう
- 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』より-

① 本質的な問い （何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

表現の仕方を評価することは、社会生活のどのような場面において役立つのか？

② 単元を貫く問い （単元を通して考え深めていく「問い」）

和歌に用いられた表現の仕方には、どのような効果や意味があるか？

③ 個別の問い （単元を構成する授業内で身に付ける知識・技能等）

- ・ 作者はこの和歌でどのような思いを伝えようとしているのか？
- ・ この和歌にはどのような表現の仕方が用いられているか？
- ・ この和歌に用いられている表現の仕方は、作者の思いを伝える上で、どのような効果があるのか？
- ・ この和歌にはどのような意味（特質・価値）があるのか？

単元計画の
構想を立てる

- 1 三首の和歌を比較し批評するという言語活動を設定し、これまでに学習したことの中から、この単元において活用可能な内容を振り返ったり、学習計画を立てたりする。
- 2 「君侍つと～（額田王）」「うたたねに～（小野小町）」「玉の緒よ～（式子内親王）」を比較して一首を選び、表現の仕方の効果や意味を考える学習をし、表現の仕方による効果や意味を考える際のポイントをつかむ。
 - i 各和歌に用いられている言葉や背景、作者などの歴史的背景を調べ、鑑賞に役立つものを抜き出す。
 - ii 各作者が和歌で伝えようとしている思いを捉える。
 - iii 各和歌に用いられている表現の仕方を捉え、作者の思いを印象付ける上で、どのような効果を上げているかを考える。
 - iv 各和歌の意味（特質・価値）を考える。
 - v 三首の中から一首を選び、批評文にまとめる。
- 3 IIの学習を活用し、新たに自分で選んだ三首を比較して一首を選び出し、表現の仕方の効果や意味を考える学習をする。
(パフォーマンス評価)
- 4 選んだ和歌について批評したものを共有する。
- 5 表現の仕方による効果や意味を考える際のポイントを再度整理し、社会生活等における活用場面を想起する。